

学びのシート活用法及び解答集

教員向け資料

2025.5月版

サン・ファン館「学びのシート」活用法について

宮城県慶長使節船ミュージアム(サン・ファン館)では、支倉常長ら慶長遣欧使節の挑戦の歴史や帆船文化、地域の歴史が学べる学習プログラムをご用意しました。

この「学びのシート」は、学習指導要領に基づいた「事前学習・現地見学・振り返り学習」ができるワークシートとして作成しています。

サン・ファン館 学びのシート 「サン・ファン・パウティスタと慶長遣欧使節」 2023.5.16版

▶慶長遣欧使節とは？

今から400年以上前の1613年、仙台藩の殿様伊達政宗が、メキシコと直接の貿易をしたり、仙台にキリスト教の宣教師を呼んだりするために、スペイン国王やローマ教皇にお願いすることになりました。そのために送られた外交使節が慶長遣欧使節です。

使節の大使に選ばれた数家の家臣、支倉常長は、宣教師のルイス・ソテロと一緒に、仙台藩で作られた洋式の帆船サン・ファン・パウティスタ号に乗って太平洋を渡りました。

▶支倉常長ってどんな人？

支倉常長は、伊達政宗に仕えた武士です。一度、父が罪を犯してしまい、その影響で常長も仙台藩を追い出されてしまいました。しかし、常長の才能が高く評価していた政宗は、もう一度チャンスを与え、大切な任務である使節の大使に選んだといわれています。

サン・ファンクイズ

Q.サン・ファン・パウティスタ号がメキシコへ出発したところ、世界は「大航海時代」と呼ばれる時代でした。そのころ、世界の海は2つの国に分けていました。その2つの国はどこでしょう？

①スペインとポルトガル ②イギリスとアメリカ ③フランスとドイツ

■日本史と世界史の接点

サン・ファン館では、慶長遣欧使節の歴史と、彼らに乗せて大海原を渡った「サン・ファン・パウティスタ」号を中心とした帆船文化について紹介しています。

それは、400年前の「大航海時代」にあって、日本と世界が接点を持つことができた稀有なトピックスでした。

児童の皆さんの興味を引き出すとともに、サン・ファン館内の展示物などについて、より深い理解と学習の発展にお役立ていただけることを願っております。

■サン・ファンクイズ

各ページの下部に「サン・ファンクイズ」を用意しました。

ポイントとなる項目をクイズ仕立てにしています。

展示物を通じて地域の歴史をその背景とともに学びながら、当時の苦労や思いを感じ、想像を大きく広げてください。

■話し合いでさらに広がる「学び」

サン・ファン館で学んだことを共通の話題とし、皆さんで話し合ってください。

その中で、新たな気づきや考えるきっかけが、きっと生まれてくることでしょう。

サン・ファンクイズ 回答集

サン・ファン クイズ①

Q.サン・ファン・パウティスタ号がメキシコへ出発したころ、世界は「大航海時代」と呼ばれる時代でした。そのころ、世界の海は2つの国が分け合っていました。その2つの国とはどこでしょう？

①スペインとポルトガル ②イギリスとアメリカ ③フランスとドイツ

正解

【解説】

当時スペインとポルトガルは帆船建造の技術を発展させ、他の国々より早く遠方の海へと進出しました。そして各地の支配を進め、1494年には「トルデシヤス条約」を締結。両国で世界を二つに分けあうこととなります。

サン・ファン クイズ②

サン・ファン・パウティスタ号には多くの人々が乗り込み、一緒にメキシコを目指しました。どのくらいの人数だったのでしょうか？

①約30人 ②約90人 ③約180人

正解

【解説】

サン・ファン・パウティスタ号には約180名の乗員が乗っていたとされます。その内訳として、支倉常長とルイス・ソテロを含む使節団員13名、幕府関係者約10名、南蛮人約40名、使節の従者・商人・水夫など約120名が含まれていました。

サン・ファン クイズ③

Q.長い旅をしてヨーロッパへ向かった慶長遣欧使節。その最大の目的は、いったい何だったのでしょうか？

①外国と貿易をすること ②日本の文化を広めること ③金や銀を手に入れること

正解

【解説】

慶長遣欧使節の目的は、伊達政宗がスペインとの貿易交渉を進めることでした。使節団はスペイン国王フェリペ3世やローマ教皇パウロ5世に謁見し、仙台藩とスペインの関係強化を図りました。政宗は交易を通じて仙台藩の経済を活性化させ、海外の技術や文化を取り入れることを望んでいました。

メモ

.....

.....

日本史と世界史が交わった大航海時代。
支倉常長ら慶長遣欧使節の旅や、政宗が世界とつながろうとした考え方にふれて、
あなたはどんな気持ちになりましたか？
みんなで話し合いながら、歴史について考えてみましょう。

振り返り学習の一環として、話し合った内容を皆さんで共有しましょう。

展示物だけではなく、学校生活や他の教科について展開するなど、大きく広げていただく
ことで、より深く、さらには柔軟な理解につながることを期待しております。

メモ

■お問い合わせ

宮城県慶長使節船ミュージアム(サン・ファン館)
企画広報課／中澤・阿部(絵)
電話:0225-24-2210
メール:k-kouhou@santjuan.or.jp